

イヤーエンドパーティ げんきかい

12月18日(土)PM6時30分より、柴崎学習館地下1階ホールでイヤーエンドパーティ“げんきかい”を開催しました。昨年度と同様コロナ禍での開催で、出来る限り質素な会とするため

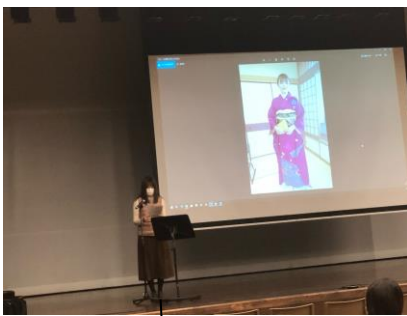


参加者数を制限し、会場の飾りつけも、飲食の提供も止めました。以前は150~200名近くの参加者でしたが、今年では会場：38名、リモート：7名でした。ここ数年は西砂教室からの参加者はいませんが、今年には1名参加して戴きました。

会長の挨拶で始まり、続いて以下のプログラムで“げんきかい”を進めました。

1. 受講生による“この写真は”の発表

今までのイヤーエンドパーティにない新しい企画で、予め提出してもらった写真をスクリーンに映し、それをネタに思い出話等を発表しました。発表者は受講生：7名とボランティア：1名で、京都などへの旅行、来年の干支(トラ、ねこ)の話、徴兵で軍隊入隊時の様子など様々な話題が次々と発表され興味深く聞き入りました。ボランティアからは今年夏に東京オリンピックでキャストとシウクライナ選手団を引率し活躍された時の話が発表され、その時に写したメダリストと一緒にの写真も紹介されました。



京都で着物を着ました。



来年の干支はトラです。トラはネコのようにかわいいですね。



台湾は徴兵制があります。軍隊入隊時の写真です。

この中に金メダリストがいます。どの人でしょうか。



2. ギターの弾き語り



西砂教室参加者のサプライズ出演で、ギターの弾き語りをして戴きました。懐かしい日本の歌謡曲で、曲名は「今日の日はさようなら」と「津軽平野」です。歌詞カードを配り、一部の人は一緒に歌いました。

ギターの弾き語りサークルに所属され、練習が終わり帰宅の途中に参加されたとのことで、ギターを持参されていました。

3. スライドショー

次の2つのスライドショーを放映しました。

①イヤーエンドパーティの歩み 2013～2021年

②2021年度のTIFAの活動

①2013～2019年度は参加者が多く、活気に溢れたパーティで、一方2020年、2021年はコロナ禍で参加者を制限した自粛したパーティでした。ただ、リモート参加などの新しいスタイルを取り入れ、コロナが終息した後のイヤーエンドパーティの在り方を考える上で、貴重な体験となりました。

②2021年度は繰り返し休講を余儀なくされ、いろんな制限がある中、日本語教室の活動を継続した様子を映しだしています。

4. 教室部長からの新年の予定説明



土曜教室部長、木曜教室部長、西砂教室担当者が、3教室其々の2022年1～3月の予定を発表しました。

西砂教室は約1年間、コロナ禍のため休講していましたが、1月8日に開講します。

5. 閉会

企画部長の閉会の辞



参加者全員に米菓のお土産

